

# 2011年3月期 決算説明資料

---

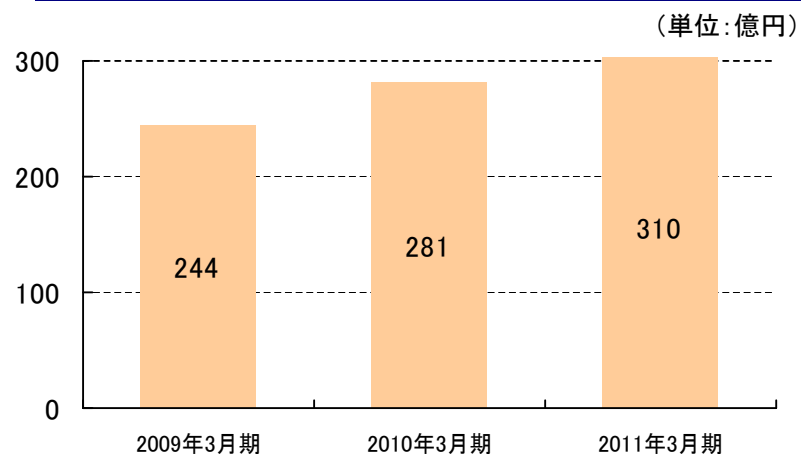
2011年 5月18日

**オリックス信託銀行**

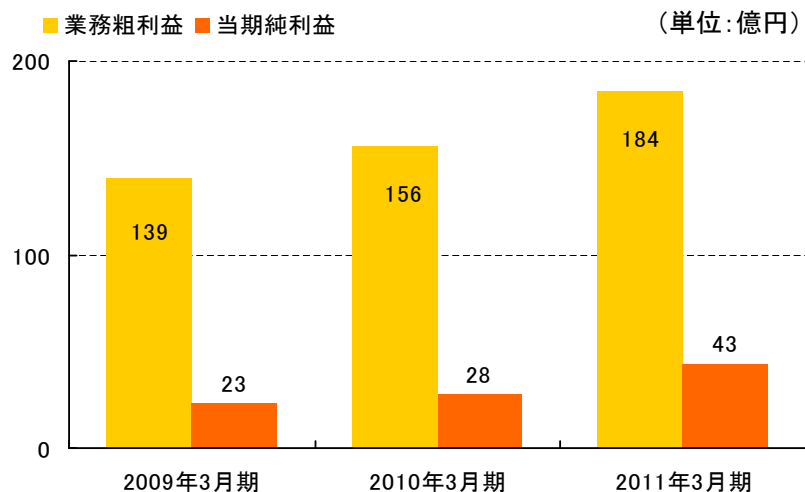
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、表示しています。

# 2011年3月期 業績ハイライト

## 経常収益



## 業務粗利益・当期純利益



- 前期比、増収・増益。
- 業績は堅調に推移。

(単位: 億円)

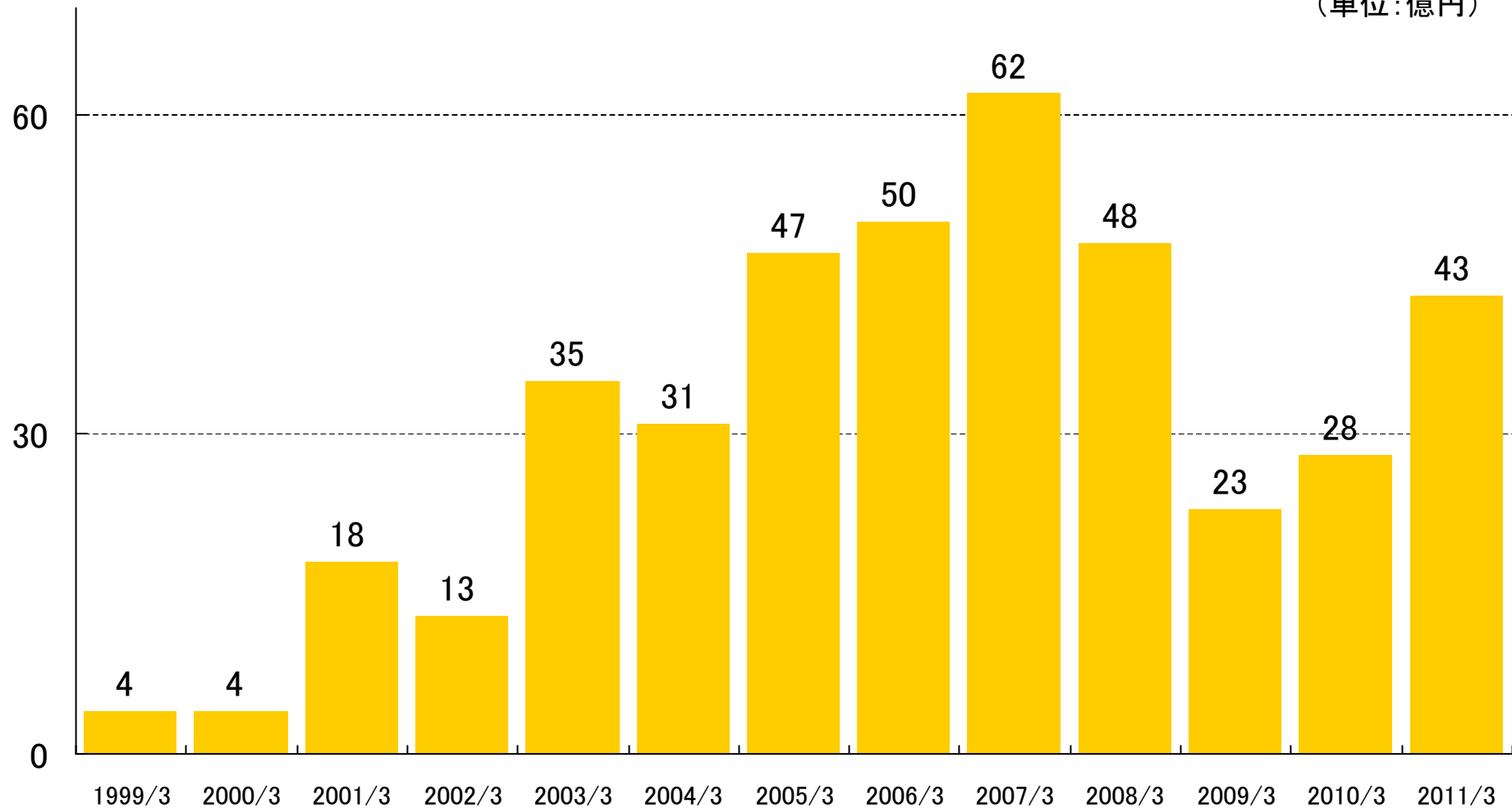
	2010年 3月期	2011年 3月期	前期比	
			増減額	増減率
経常収益	281	310	28	10.1%
業務粗利益	156	184	27	17.4%
信託報酬	10	11	1	9.9%
資金運用収支	163	187	24	14.9%
役務取引等収支	-17	-22	-4	25.5%
その他業務収支	0	7	6	721.5%
営業経費	88	91	2	2.4%
経常利益	49	73	24	50.0%
当期純利益	28	43	15	56.1%

	2010年 3月末	2011年 3月末	前期比	
			増減額	増減率
貸出金	7,364	8,137	773	10.4%
預金残高 (譲渡性預金含む)	8,659	10,204	1,545	17.8%
純資産	955	1,099	144	15.1%
総資産	10,237	11,894	1,656	16.1%

# 当期純利益の推移

- オリックスグループの信託銀行としてスタートして以来、13期連続で利益を計上。安定した経営を続けている。

(単位: 億円)

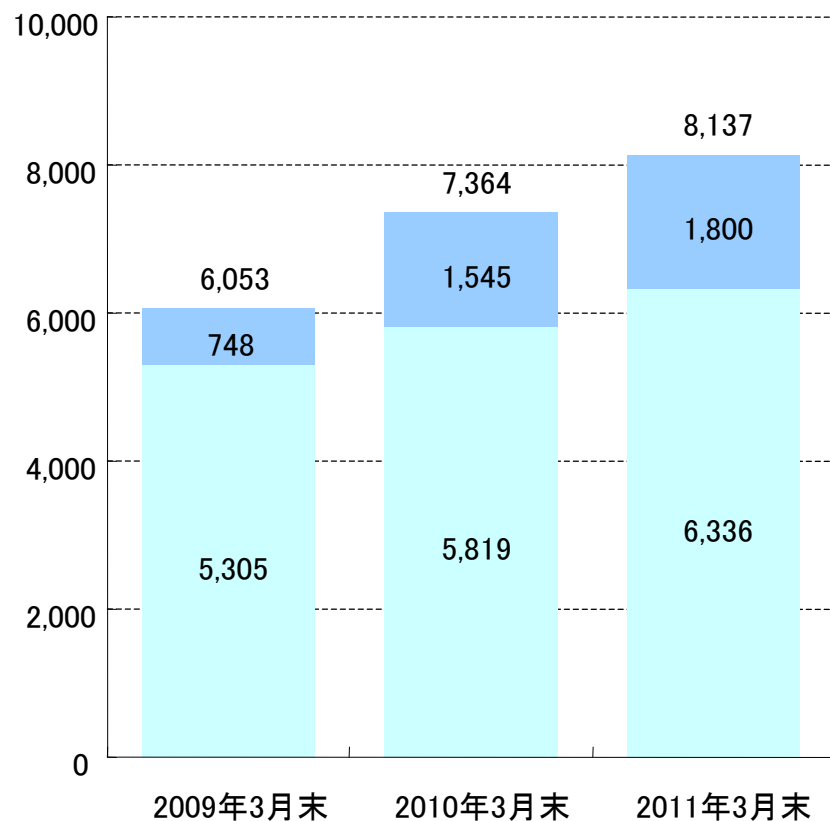


# 貸出金・預金

- 主力の住宅ローンに加え、法人向け融資を推進。貸出金・預金残高は順調に増加。

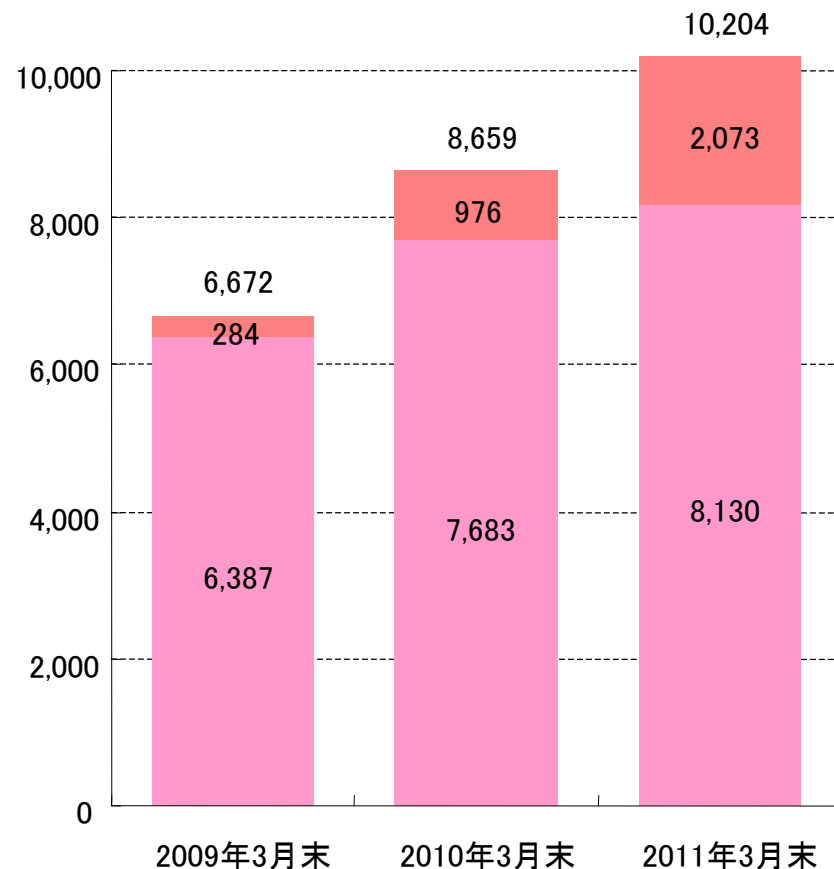
## 貸出金

■ 法人向け  
■ 個人向け (単位: 億円)



## 預金

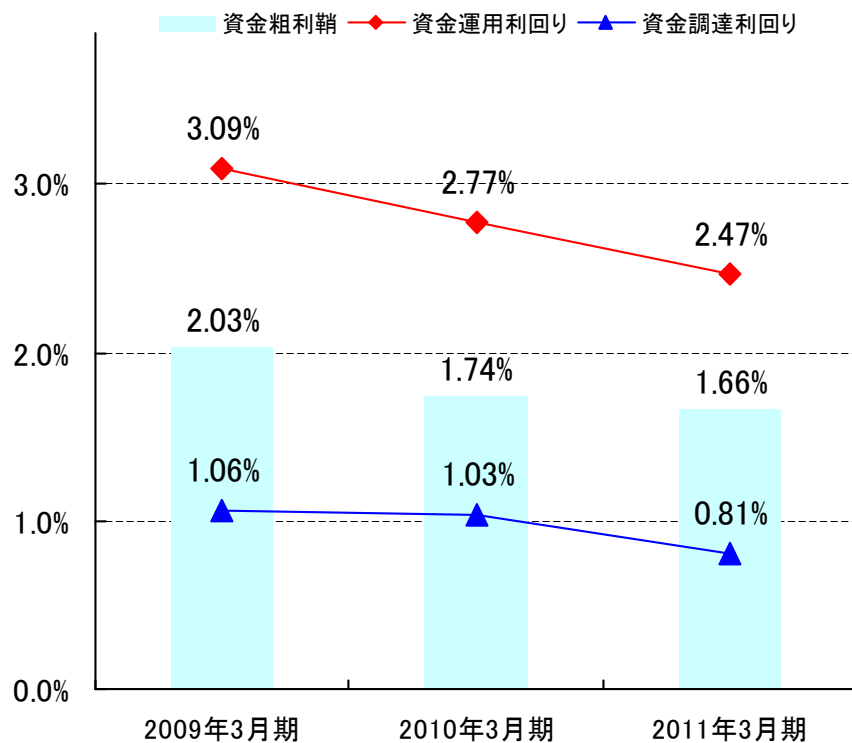
■ 法人向け(NCD含む)  
■ 個人向け (単位: 億円)



# 資金粗利鞘・利回りと資金運用収支

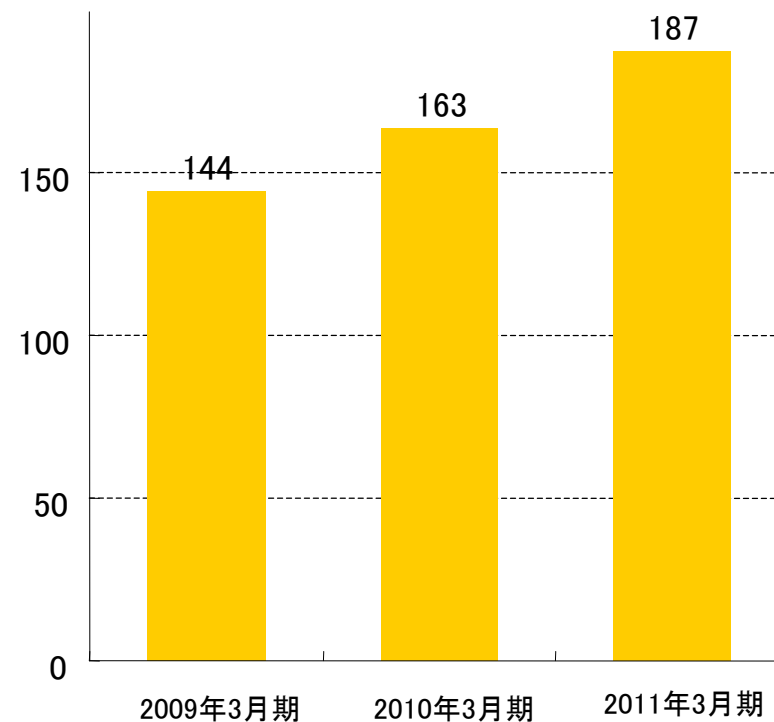
- 貸出金利の低下とあわせ、調達利回りも低下。一定の資金粗利鞘を確保。
- 貸出金残高の増加により、資金運用収支は増加。

## 資金粗利鞘・利回り



## 資金運用収支

(単位: 億円)



# 信託財産と信託報酬

- 新規受託が伸び悩み信託財産は減少したが、信託報酬は増加。

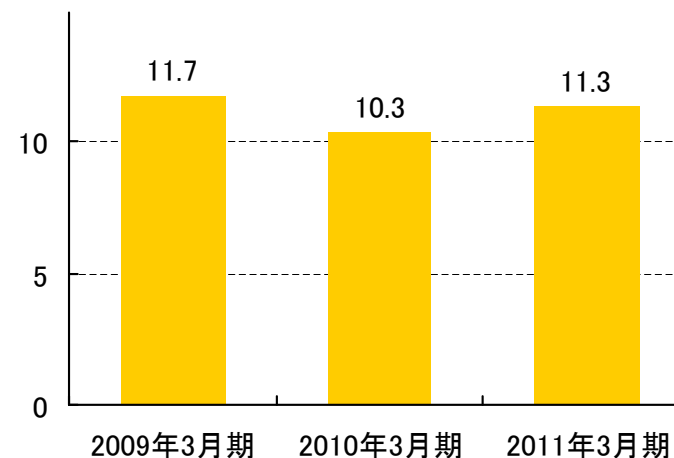
(単位: 億円)

	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	前期末比
貸出金	30	608	1,644	1,036
有価証券	923	895	484	-411
信託受益権	1,993	1,576	2,091	515
受託有価証券	1,455	1,244	896	-348
金銭債権	11,834	11,130	7,657	-3,473
有形固定資産	1,158	1,502	1,565	62
無形固定資産	5	19	19	—
その他債権	15	15	15	0
銀行勘定貸	10	7	6	-1
現金預け金	1,027	1,079	1,034	-45
<b>資産合計</b>	<b>18,454</b>	<b>18,080</b>	<b>15,415</b>	<b>-2,665</b>

金銭信託	7	7	—	-7
金銭信託以外の金銭の信託	1,314	1,878	2,600	721
有価証券の信託	776	775	687	-87
金銭債権の信託	2,756	2,327	71	-2,255
包括信託	13,599	13,092	12,055	-1,036
<b>負債合計</b>	<b>18,454</b>	<b>18,080</b>	<b>15,415</b>	<b>-2,665</b>

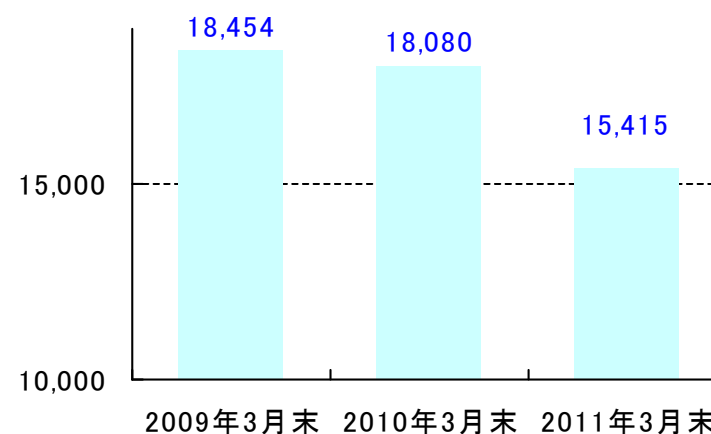
## ■ 信託報酬

(単位: 億円)



## ■ 信託財産

(単位: 億円)



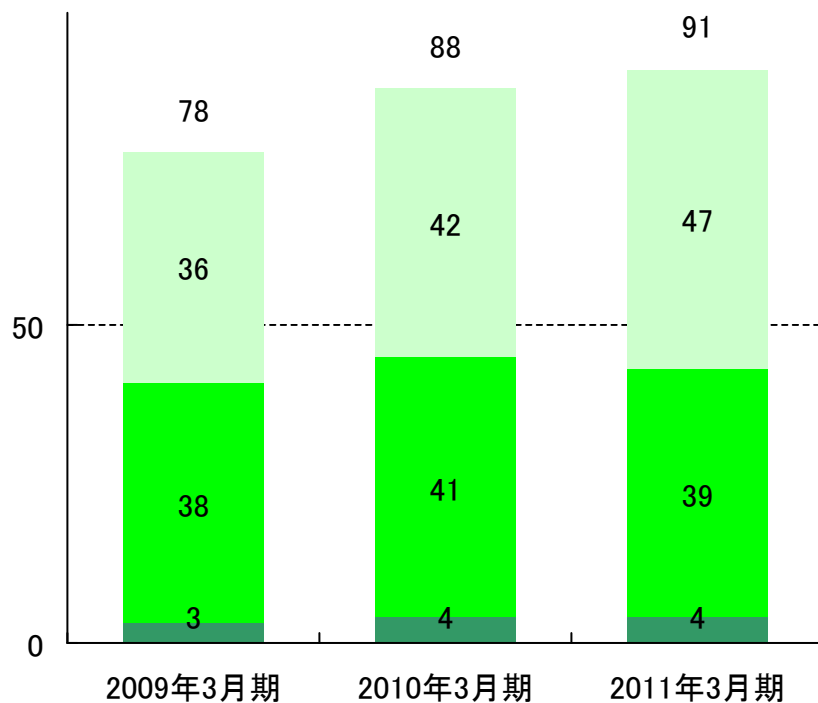
# 営業経費と経費率

- 業容拡大にともなう人員増により、人件費が増加。
- 営業経費の抑制により、経費率は50%を下回る。

## 営業経費

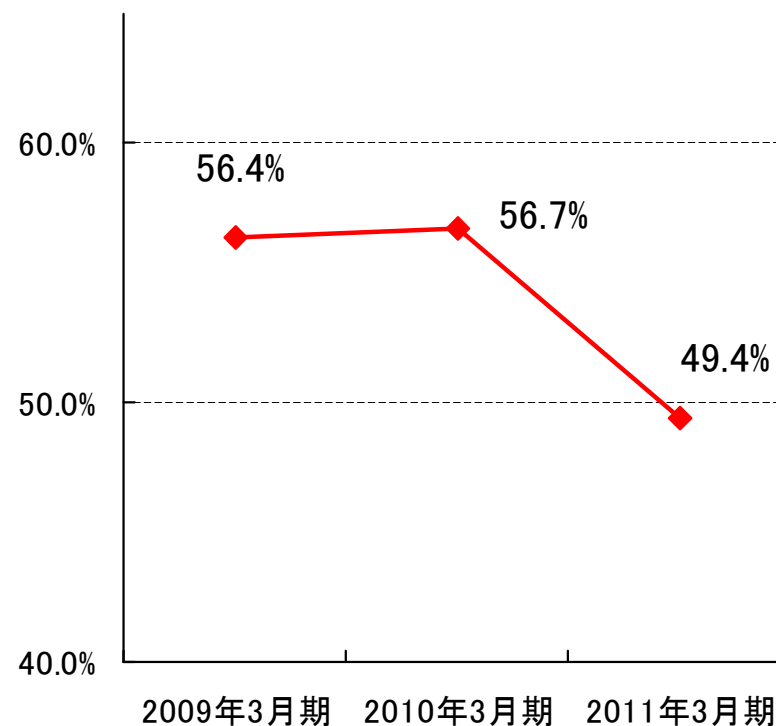
(単位:億円)

■ 税金 ■ 物件費 ■ 人件費



## 経費率

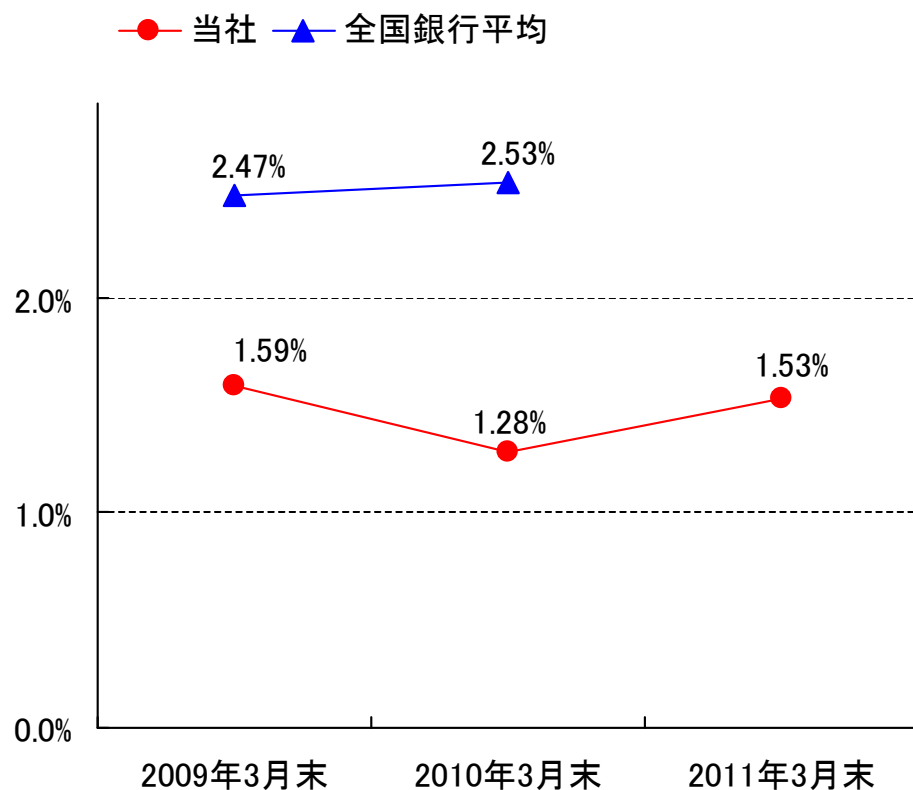
※経費率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益



# リスク管理債権(不良債権)

- リスク管理債権比率は若干上昇したものの、低水準を維持。

## リスク管理債権比率



注) 全国銀行平均: 全国銀行協会発行「全国銀行財務諸表分析」より

## リスク管理債権残高

(単位: 億円)

	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	前期末比
破綻先債権	7	3	1	-2
延滞債権	81	80	92	12
3か月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	7	10	30	19
合計	96	94	124	29

## 金融再生法ベース開示債権

(単位: 億円)

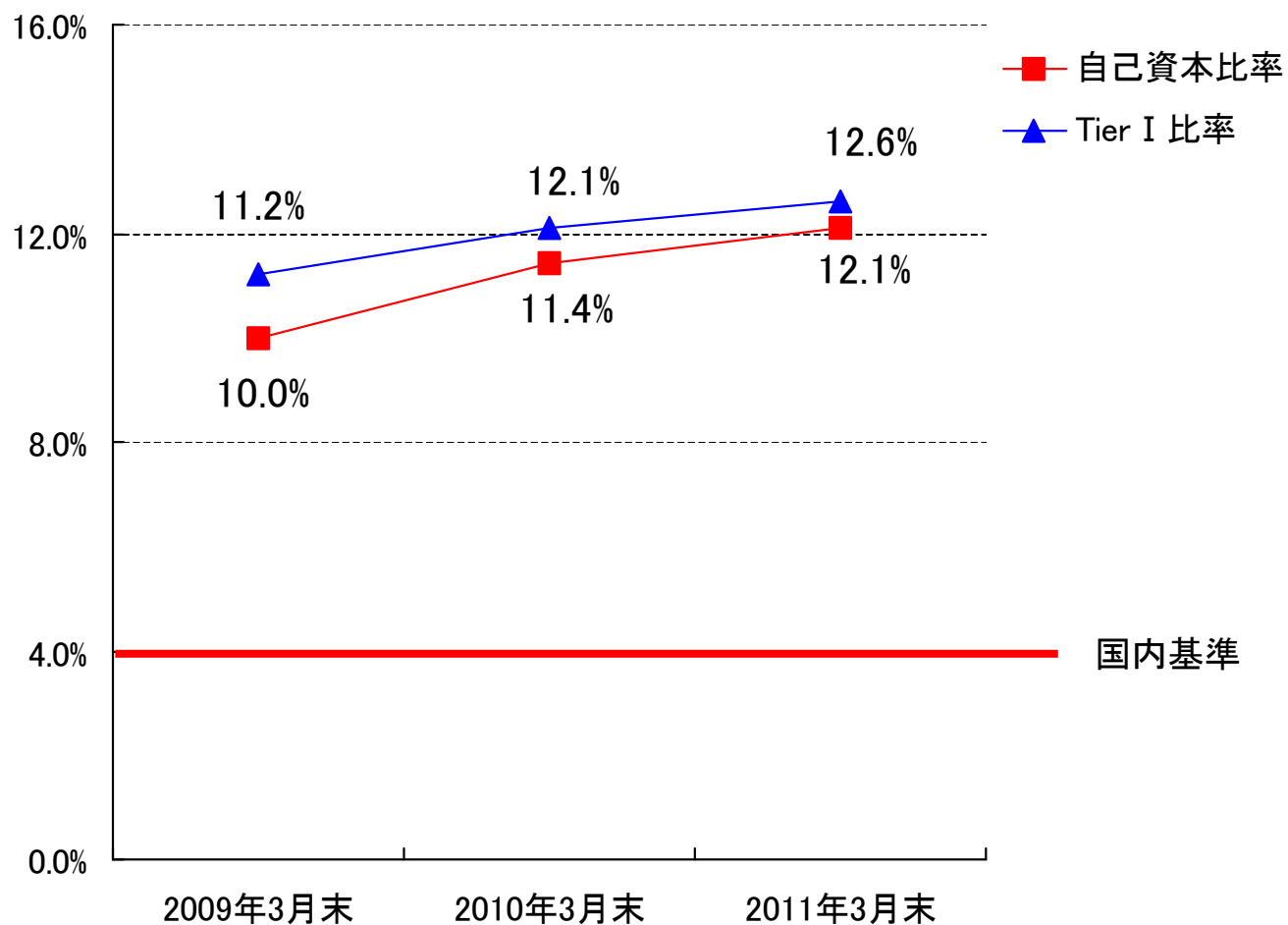
	2009年 3月末	2010年 3月末	2011年 3月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37	29	21	-7
危険債権	53	57	73	16
要管理債権	7	10	30	19
正常債権	5,968	7,281	8,025	744
合計	6,067	7,378	8,151	773

注) 上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。




## 自己資本比率とTier I (中核的自己資本)比率

- 2011年3月に、100億円の株主割当増資を実施。
- 自己資本比率は、高水準を維持。



## 《トピックス》 商号変更について

- 新商号 : オリックス銀行株式会社 (ORIX Bank Corporation)
- 変更予定日: 2011年10月1日



ほかにはない  
アンサーを。

# オリックス信託銀行は、オリックス銀行へ。

2011年10月1日、オリックス信託銀行は、オリックス銀行に社名を変更いたします。


オリックスグループの信託銀行としてスタートし13年。私たちは、店舗を持たず、インフラコストを抑えることで、魅力的なサービスをお届けしてまいりました。2011年3月には総預金1兆円を達成。多くのお客さまからご支持を頂けるようになりました。そして2011年10月、私たちは、お客さまにとってもっと身近な銀行になるために社名を変更いたします。「信託」とどまることなくしなやかな発想で、お客さまの幅広いニーズにお応えすることを約束します。

### ニッポンの銀行に、しなやかな発想を。オリックス銀行

〈取り扱い商品〉

個人向け 定期預金・不動産投資ローン・無担保ローン	法人向け 預金・融資・信託
------------------------------	------------------

〒105-0014 東京都港区定3-22-8 オリックス総ビル <http://trust.orix.co.jp/>



- 補足事項
- ・ 金融庁からの認可取得を前提としています。
  - ・ 業態・銀行コードの変更はなく、名称のみの変更です。「信託業務」は今まで通り、継続いたします。

## 会社概要 (2011年3月31日現在)

- 商 号 オリックス信託銀行株式会社  
(ORIX Trust and Banking Corporation)
- 本店所在地 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
- 代表取締役社長 潮 明夫
- 設 立 1993年8月23日
- 資 本 金 450億円
- 株 主 オリックス株式会社(100%)
- 従 業 員 数 501名
- 長 期 格 付 け 「A」格付投資情報センター(R&I) 「A-」スタンダード&プアーズ(S&P)
  
- 所 在 地
  - ・本店 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
  - ・大阪オフィス 大阪府大阪市中央区北浜3-5-22 オリックス淀屋橋ビル
  - ・福岡オフィス 福岡県福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル
  - ・立川オフィス 東京都立川市曙町2-22-20 立川センタービル
  - ・沖縄出張所  
(コールセンター) 沖縄県那覇市壺川3-2-6 壺川ビル